

熊谷組の社会貢献活動について

経営企画本部 コーポレートコミュニケーション室

社会貢献活動の必要性

企業活動を取り巻く社会課題は、企業をはじめとするあらゆる組織が取り組まなくては解決できない、待ったなしの問題ばかりです。

不安定な経済情勢の中、企業を取り巻く状況が厳しさを増す一方で、企業の社会的責任に対する関心は一層高まりつつあります。

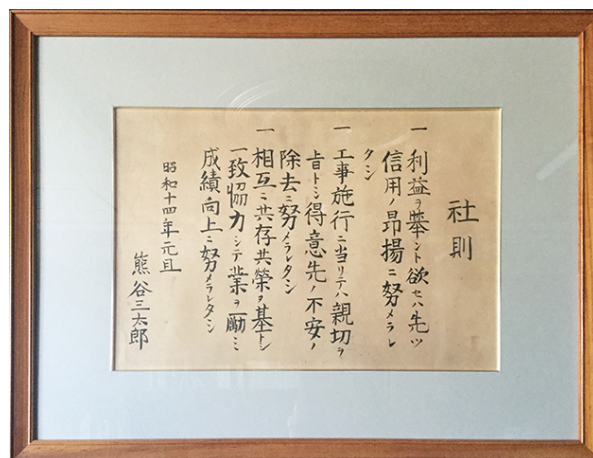
企業には利益を追求するだけでなく、環境への配慮、地域社会への貢献が求められています。



熊谷組の社会貢献活動の概要

社会から必要とされる企業をめざして

熊谷組は企業活動の基本的精神・指針として「社訓」、「経営理念」、「グループビジョン」を定めています。これらを実践することで、持続可能な社会への貢献を果たし、ステークホルダーから信頼される企業を目指します。

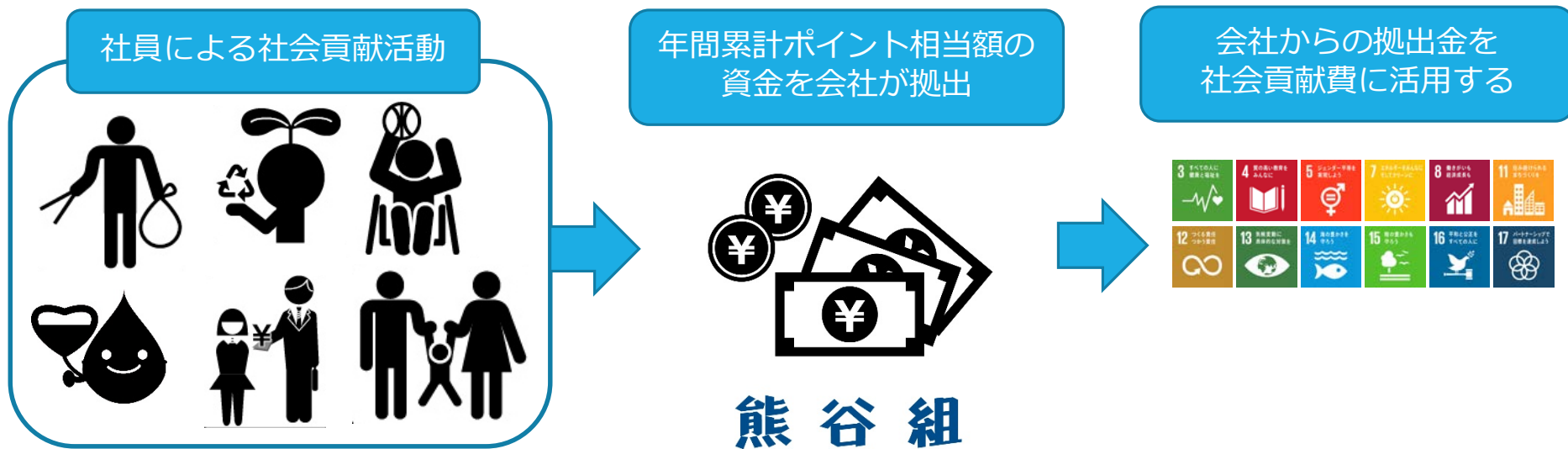


社会貢献活動プラットフォーム 1

社会貢献活動のプラットフォーム

熊谷組 スマイルプロジェクト

- 社会貢献活動に参加した社員数に応じて、会社が社会貢献活動費を拠出するマッチングギフトを応用した仕組みです。
- 1名の社員が社会貢献活動に参加すると、プラットフォームに1ポイント付与されます。
- 1ポイントは1万円で計算されます。当面は1年間で同じ社員に付与されるポイントは1ポイントが上限です（できるだけ広く多くの社員に参加していただくことに主眼を置いています）

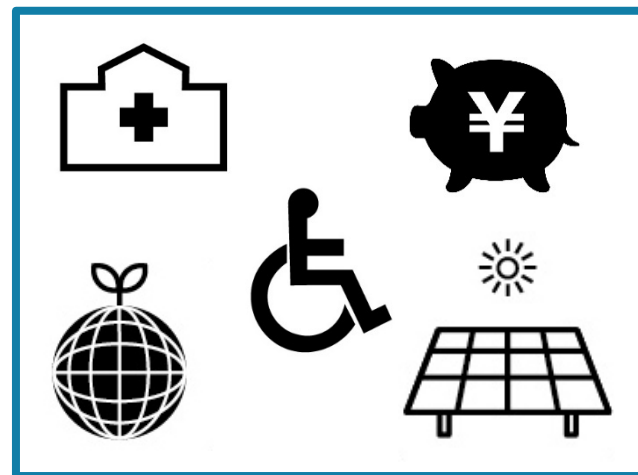


社会貢献活動プラットフォーム 2

- (1) 活動期間：毎年4月1日～翌年の3月31日
- (2) 参加対象：熊谷組の全役職員
(初年度は熊谷組で試行し、グループ会社にも拡大)
- (3) 活動内容：社員が支店や部署などの各拠点で社会貢献活動に参加
- (4) 活動報告：システムを利用して活動概要を報告
(社外向けHPやイントラネットで活動を紹介)
- (5) 活動集計：年度ごとに参加社員数（ポイント）を社会貢献活動費に換算して拠出。

社会貢献活動プラットフォーム 3

社員の社会貢献活動によって会社から拠出された費用は、社員の要望をとりまとめ、事務局で検討、CSR推進委員会で審議、経営会議の承認を得て実施します。



社会貢献活動プラットフォーム 3

期待される効果

● 社会貢献を身近に

支店や部署といった各拠点ごとの活動を可視化・一元化することで、社員が意欲的に社会貢献活動できる環境を醸成します。さらに自分たちの会社の「いいところ」や「改善したほうがいいところ」を知るきっかけにします。

● 小さな力をより大きく

社員一人ひとりの活動に対して、より大きな社会貢献活動につながる相乗効果を生みます。

● 一人ひとりの力をチームの力に。

活力あふれる会社を目指し、社会に貢献します。



システムフロー

社員による社会貢献活動

報告

A支店社員



B支店社員



C支店社員



D本部社員



本社システム主管部署

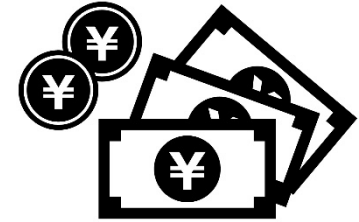


ポイント
集計

社外
ホーム
ページで
紹介

社内
ポータル
サイトに
掲載

年間累計ポイント相当額の
資金を会社が拠出



熊谷組

資金の
拠出

会社からの拠出金を
社会貢献活動費に活用する



費用の活用
方法決定

社会に還元

